

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、有明小学校1年生の2人です。

ゆう気のこことば



西田 一陽 さん

人けんしゅうかいがあらました。校ちよう先生が「人けんとはなんでしょうか。」ときかれまして。さいしよはよくわかりませんでした。じぶんを大せつにするように、まわりの人も大せつにするのとだとおしえてもらいました。そこで、「ゆう気のこことば」というDVDを見ました。てん校してきた男の子は、なまえが「中田」なので、「チューター」とあだなをつけられてしまいました。ほんとうは、いちゃだったの「こわくてさや

としいたいです。

なかよくなれたよ



小宮 悠真 さん

だといえませんでした。ポールを木にひっかけたときも、わざとじゃないのにわざとだと、きめつけられてしまいました。とてもかなしくて、学校を休みたいとおもうくらいつらかったのだとおもいました。わたしだったら、「かっさになまえをかえてよばないで。」「だいいじょうぶだよ。」などといってほしかったです。もし、じぶんがされたら、ぜったいいやだからです。これでは、みんないやな気持ちで、かなしくなるからです。わたしは、このDVDを見て、人を大じにすることが、じぶんがされていやなことはないで、じぶんにしてほしいことをやることだとわかりました。「いやなよは、いや。」といつていらい、いちゃといえないうもだちがいたら、いっしょに「いやだ。」

たいいくのじかに、またあてゲームの学しゅうがありました。またあてゲームは、二つのチームにわかれて、ダンボールはこをつんでつうつたまことに、ボールをあててたおはゲームです。さいしよはボールをなげてもあい手チームにまもられて、せんせんあたりませんでした。チームのともだちは、「あい手がくるまえになげる

としいよ。」とおしえてくれました。でも、うまくあたりません。かなしくなると、「いちゃなあ。」とおもいました。みんなみたいに、あてててんをとりたかったです。「いっしょにさくせんをかんがえよう。」と、ともだちがはげましてくれました。「パスをつなごう。」「みんなてんをうつごう。」「みんなと、れんしゅうをしました。するとパスがつながって、またあてることができました。またあてることができなくて、まけることがおあかつたけれど、とてもたのしかったです。ほぐがあてられなくても、チームのともだちにパスをして、パスがつながると、いっしょにてんがとれまして、うまいくなくても、「だいいじょうぶ。つぎはでき

【先生からの一言】

一陽さんも悠真さんも、友達のことをしっかり考えていますね。2人のように相手の気持ちに寄り添えたら、みんな笑顔で過ごせますね。これからもたくさんの人と出会い、心をつなげていきましょう。

CONTENTS	ページ
消防出初式	2~3
さげもんめぐりほか	4~9
水都 info、まちかどレポートほか	10~15
お知らせ掲示板、活動紹介ほか	16~23

2 月号

2024.No.435

広報やながわ 令和6年2月号 No.435

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail kohin@city.yanagawa.lj.jp

発行日 令和6年2月1日
【広報やながわ】は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



二十歳の笑顔大集合

1月7日、20歳を祝う「二十歳のつどい」が市民文化会館で開催されました。今年の対象者は589人。当日の様子は14ページをご覧ください。

市の最新情報は公式LINEで発信しています。プッシュ通知なので情報を見逃すことがなく便利です。ぜひ友だち登録をお願いします。

